

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立井高野小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。
 児童や保護者アンケートや検証資料の結果から、学校が子どもたち一人ひとりにあった教育活動を行っていることが伺える。学力面では、一部成果を上げることができたが、不登校の課題や自尊感情に課題がみられた。体力向上の取り組みや ICT 活用についても今後より一層取り組む必要があることが分かった。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度より向上させる。
- 「自分にはいいところがあると思う」では、校内アンケートで中学年が低いのは、どうか。→自分を客観的に見ることできびしくつけている児童もいる。また、教師側ができてあたりまえになってきて褒めることが減ってきているのが原因かもしれない。
- 避難訓練では、どんなことをするか。→地震や火災や防犯訓練など年間を通して訓練している。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を昨年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を昨年度より向上させる。

○運動場が狭くなったことで、体力面だけでなく精神面でも影響があるのでは。講堂の活用も必要ではないか。ぜひ、ストレス発散をお願いしたい。→時間や見守りの面で実施できていない。運動週間や体育の中で工夫していきたい。

○食に関しては、子どもは食べるだけなので保護者に啓発する必要があるのではないか。→児童に食育をすることで、学校や家でも好き嫌いせず必要な食材を食べてもらうこともめざしている。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

○ 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕

○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 2 を満たす教員の割合を 83%以上にする。

○学級文庫を充実していただいているのはありがたい。なかなか読む時間がないのではないか。→教室だけでなく図書室に行く児童もいる。

○しんどい子どもの休み時間の居場所の確保をしてほしい。府立高校でのスペースづくりなども参考にしてほしい。

3 今後の学校園の運営についての意見

不登校児童の解消や自尊感情を高める取り組みを一層推進してほしい。運動場が狭いことで体力面や精神面で課題があるので取り組みを進めてほしい。他の学校のモデルを参考に来年度がより充実した学校づくりに努めてほしい。